



第 3 号

令和6年7月1日発行

八町小学校運営協議会

豊橋市八町通五丁目5

TEL 52-1184

子どもの笑顔のために

思い出の足跡 令和5年度 パート②

曲尺手町「芋ほり会」 11月12日

- ① 老人クラブ（河合通宏）他7人
- ② さつまいもや里いもなどの野菜を子どもたちが掘り出し、そのあと焼きいもにしたりいもなべにしてみんなで楽しく食べました。
- ③ 子どもは10名ぐらい
- ④ 洪水の影響を受けながらも老人クラブのおかげで今年もできました。



鍛冶町「灯籠飾りの会」 8月11日

- ① 実行委員会（菅沼利行）他13名
- ② 各家族で灯籠の周りに絵を描き、町内の旧バス通りに飾っている。子供会がジュースやお菓子を配っている。
- ③ 鍛冶町全世帯
- ④ 町民約150名 子ども約80名
- ⑤ 毎年8月11日山の日に実施し、これ以前に行われる「灯籠で飾ろう二川宿」にも灯籠を出展する予定。



三丁目6年生を送る会 3月16日

- ① 子ども会（山田佳奈・富田亜矢子）
ロワジールホテル
- ② ボーリング大会・ランチビュッフェを通じて6年生を祝うと同時に交流を深める。
- ③ 子ども17名
- ④ コロナが五類へ移行したので再開した。



旭・旭本町合同もちつき会 12月3日

- ① 老人クラブ（黒柳英司）
他15名 旭中町公園
- ② ついたおもちをみんなできなこ、大根おろし、しょうゆで食べ、楽しい時間を過ごす。
- ③ 幼児を含め26名
- ④ 三世代が集まって、地域のつながりを深める。



旭・旭本町花見会 3月31日

- ① （原田和政）他15名 旭中町公園
- ② 花見をしながらゲームや話をして交流・親睦を深める。
- ③ 子どもは23名
- ④ 旭子連が主体



校区内・町内の子どもたちを対象にした企画を掲載しています。今後、順次掲載します。で、実施した企画がありましたら、八町小学校（教頭）に連絡ください。

第一回 学校運営協議会

令和六年五月九日

話し合われた内容

(一部抜粋)

(1) 令和6年度学校運営方針について

校長・事務主事より提案

(2) サマーチャレンジについて

○実施時期を出校日前に実施してほしいという声があるが？

●このサマーチャレンジの目的は、子どもたちが自主的に学ぶお手伝いをしたいという思いではじめた。また、夏休みの宿題については家庭で親御さんと一緒にやってほしいと思う。しかし、皆さんの声も活かしたい。

○おはなしの部屋の活動は出校日前に市民館で実施しているが、この運営協議会と連携してやることもいいのではないか？

●保護者の要望も考慮し、また市民館と歩調を合わせてやることもいいことだと思う。

○夏休みの終わりにもうこうした学習する場を持つてほしいという声も聞くが？

●2学期の学習につながるよう実施するのもよいと思うので検討

討したい。

○サポーターとしてお手伝いしようと思っても、子どもを教えることは自信がないので、参加するにはハードルが高く、難しいと考える人も多いのではないか？

●このサマーチャレンジは学習の場を提供し、みんなで応援し、一緒にお手伝いすることである。みんな子どもと一緒に相談にのったり、考えたりしてやりたい。

●老人会もこうした場に参加し、子どもたちとふれあうこともよいことだと思う。

●今回の運動会にも高校生がボランティアで参加してくれる。高校生や専門学校生、さらに中学生にも声をかけて参加を促したい。

(3) 機関紙「八町コミュニティ」について

○他校区にはこうした機関紙の発行はなく、活動を紹介するという意味でよいと思う。読んでいるという声もいろいろなところから入ってきている。

○八町校区では今までも子どもの活動をいろいろな形で支援している。入学式には毎年自治会から1年生に防犯ブザーを贈呈しているが、知

らない人も多いのではなか。子どもたちのための活動を校区の人々に紹介することも大切である。また、みんなが連携し、横のつながりを進めるためにもこの機関紙を活用したい。



1年生に贈呈された防犯ブザー

(4) 八町サポーターの募集について

○各種団体に働きかけをして、登録をお願いしていきたい。

●会議の場で、「八町サポーター」を紹介して、登録をお願いしたが、QRコードを使うというところが難しい方も多かった。

○年配の方はスマホを持っていない人も多く、紙でないとできないので、紙でも登録できるようにしてほしい。

●メールによる登録だけでなく、紙媒体でもできるようにしたい。

(5) 八町小放課後校庭開放(仮称)について

●学校の運動場利用について、保

護者同伴でないとだめという声を聞くことがあるが、決してそんなことはない。

○校庭でのけがや登下校での事故を心配する声もある。

●管理面で見守りのサポーターを付けるとか保険に入ったほうがよいとかいう心配の声があるが、帰宅後なので保護者の責任でやることではないか。

学校運営協議会の委員名

○会長 吉見 正樹

(兼コーディネーター)

○副会長 満田 康一

○コーディネーター

福井 基明・井本 玲子

○委員

大須賀 憲太・小林 大悟

黒柳 英司・下田 ゆうき

藤本 英彦・神野 左和子

荻山 匡仁・佐々木 裕子

上林 由美・山本 武志



教育委員会より委嘱状を受け取る吉見会長

人・ひと・ト

今回は八町おはなしの部屋の久曾神真喜さんと神野左和子さんにお話をお聞きしました。

活動の様子

子は？

神野…現在会員数は30名ほどで活動しています。イマ



神野さん 久曾神さん

ージョンで他校区に住んで見える方も参加していただいています。主な活動は年4回、全学級で朝読書の時間に行う読み聞かせと、なかよし学級ではさらに年2回授業にも入っています。他には夏休みに「おはなし会」を2回、冬には「クリスマス会」を1回やっています。

このおはなしの部屋の活動はいつごろから？

久曾神…今から35年前に神野志保子さんと「子どもたちの前で

おはなしおばさん、やってみない？」という会話がきっかけでした。当時、市民館でも地域のための活動を模索中で、主事さんたちの話もスムーズに進み、市民館の活動として正式にスタートすることになりました。そして仲間に声をかけた結果、9人で毎月第一木曜日の二時からの読み聞かせと夏と冬のお楽しみ会をすることになりました。

どんな様子でしたか？

久曾神…子どもたちは学校の授業が終わった後、市民館に寄ってお話を聞いて、帰っていったんですよ。寄り道が許されていたんですよ。でも、平成19年に寄り道禁止になり、放課後の活動はできなくなりました。

学校での読み聞かせはいつから？

神野…20年前、学校が百三十周年を迎えた年に、図書室が大きく生まれ変わりました。3部屋分が図書室になりました。椅子に座って読む

だけでなく、じゅうたんの上に寝そべっても本が読めるようになるなど子どもたちにとってめぐまれた環境になってきたんです。そんな中、学校から依頼がありましてね。その結果、各教室で毎月、朝の15

分間、先生方でされていた「おはなしレストラン」の中で、各学期一回の読み聞かせを私たちで担当させていただくことになりました。その他にも、夏休みのサマーチャレンジで図書室での読み聞かせや、読書感想文指導なども行うことになりました。

どんな思いで続けてこられたか？

久曾神…本好きな自分たちがはじめた活動が、こんな風に一部の子から全校の子どもたちの前で言うようになり本当によかったです。本好きの子がますます増えてほしいと思います。

活動を続けてきた中で印象に残っていることは？

神野…夏休みのおはなし会やクリスマス会は毎回、読み聞かせをするだけでなくいろいろ工夫を凝らして出し物もしているので毎回大変ですが、心に残っています。ハンドベル演奏を披露しようとみんな練習したり、子どもたちを喜ばそうと、着ぐるみを着てだったり、大型紙芝居で役になりきったりして私たち自身も楽しんでやっています。一昨年から100人を超える参加者がいて、学校の体育館で行う

ようになりました。参加者が多くなるのはうれしいことですが、子ども同士のけんかや大騒ぎになったりすることもあるので、大人の人が多く来てくれるとありがたいなあと思っています。

みなさんに伝えたいことは？

神野…親御さんも読み聞かせをぜひやってほしいです。学校での読み聞かせ会に参加して、親として学校や子ども様子を知ってくださるといいです。子どもの前で話をするというだけで構える方も見えますが、1回やってみると子どもの反応からもきっとその楽しさがわかると思います。

久曾神…参加してみようかなと思われる方は、八町校区市民館までお問合せください。大歓迎です。



クリスマス会のひとコマ

「八町サポーター」とは…

「八町サポーター」とは、子どもたちの応援団（ボランティア）です。

サポーターになったら…

学校や地域で何かのお手伝いが必要なときは、コーディネーターや学校からサポート依頼のメールが届きます。そのとき、自分のできそうなこと、時間的に可能であれば、サポーターとして協力していただければいいです。

子どもたちの活動のお手伝いと聞くと「そんなことできない」と思ってしまうかもしれませんが、難しいことはありません。登下校のとき交差点で見守ったり、校外に出かけるとき一緒に行ってくれたりすることは人手が多いと助かります。子どもたちが楽しみにしている「八町まつり」でのお手伝いも、貴重なサポーターの支援です。中には花壇の草取りをしているサポーターもいます。自分のできるところで大丈夫です。あなたもサポーターになりませんか。

先日豪雨が心配され、子どもたちの下校を早めた日がありました。そのとき、「子どもたちと一緒に下校できる方をお願いします」のメールを見て、地域、保護者の方が十名ほど学校に来て、子どもたちと一緒に下校をしてくださいました。たいへんありがたかったです。



八町サポーターを

募集します

地域の子どもたちは、地域で育てましょう！



あなたもサポーターになりませんか

登録は簡単です。早ければ1分で完了です！

①下のQRコードを読み取って質問に、答えていきます。名前、連絡先などを入力するフォームになっています。



※最後に必ず送信を押してください。
これで完了！

②「eメッセージ」アプリの登録もお願いします。学校やコーディネーターからの連絡が届きます。
ア. 右のQRコードを読み込む
イ. ウェブサイトを開く
ウ. 団体コードと登録用コードを入力する



団体コード hacchousyou
登録用コード BThPui

家庭科や書道、クラブ活動（昔遊びやスポーツ）の補助も大歓迎です！

スマホが苦手、QRコードがよくわからないという方は以下を記入して、小学校の教頭へ届けてください。（FAX 可 57-1972）

お名前	
あなたの立場は？ 〇をつける	中・高生 大学生 八町小保護者 保護者以外の大人
お住いの町名	
電話番号	